

日本周産期・新生児医学会
第37回 周産期学シンポジウム開催のご案内 (第4報)

(2018年11月8日現在)

テーマ：胎児診断から始める治療戦略

会長：臼井規朗 (大阪母子医療センター小児外科主任部長)

会期：2019 (平成31) 年2月8日 (金), 9日 (土)

会場：大阪国際会議場

■2月8日 (金)

【プレコングレス】 16:00~18:30

1. 教育講演

胎児MRI診断の現状：何がどこまでわかるのか? (60分)

座長：西川正則 (大阪母子医療センター放射線科)

演者：宮崎 治 (国立成育医療研究センター放射線診療部)

2. 委員会報告

胎児疾患に関する全国調査報告 (30分)

座長：和田和子 (大阪母子医療センター新生児科)

演者：渡部晋一 (倉敷中央病院総合周産期母子医療センター)

米田徳子 (富山大学産婦人科)

3. 招待講演

Development of the artificial womb: Challenges and Milestones. (60分)

座長：臼井規朗 (大阪母子医療センター小児外科)

演者：Emily Partridge MD, PhD (Division of General, Thoracic and Fetal Surgery,
Children's Hospital of Philadelphia)

【懇親会】リーガロイヤルホテル「山楽」

■2月9日 (土)

9:00~16:30 周産期学シンポジウム：胎児診断から始める治療戦略

【午前の部】診断～予後予測からトリアージへ～ 9:00~12:00

座長：板倉敦夫 (順天堂大学産婦人科)

渡部晋一 (倉敷中央病院総合周産期母子医療センター)

1. 先天性消化管閉鎖症における出生前診断の意義の検討 (25分)

田中 亮 (名古屋大学医学部附属病院周産母子センター)

2. 胎児超音波検査による先天性横隔膜ヘルニアの包括的リスク評価 (25分)

照井慶太 (千葉大学)

3. 胎児診断からみた肺嚢胞性疾患の治療と周産期予後 (25分)

杉林里佳 (国立成育医療研究センター)

4. 胎児診断に基づいた先天性心疾患胎児の分娩施設の選択 (25分)

漢 伸彦 (福岡市立こども病院)

5. 左心低形成症候群の予後からみた胎児期からの治療戦略 (25分)

北代祐三 (福岡市立こども病院)

ディスカッション (55分)

25分：講演 20分+質問 5分

【ランチオンセミナー】

12 : 10~13 : 10

1. スマートエコーからインテリジェントエコーへ

-Paradigm shift from smart ultrasound to Intelligent ultrasound, New image, New functional assessment, New intelligence- (仮)

座長：吉松 淳 (国立循環器病研究センター産婦人科)

演者：松岡 隆 (昭和大学病院産婦人科)

2. Respiratory Syncytial (RS) ウイルス感染症とパリビズマブの最新情報

座長：板倉敦夫 (順天堂大学医学部産婦人科)

演者：高橋尚人 (東京大学医学部附属病院小児・新生児集中治療部)

【午後の部】 治療～難治性疾患へのアプローチ～ 13:20～16:30

座長：早川昌弘 (名古屋大学総合周産期母子医療センター)

石井桂介 (大阪母子医療センター産科)

1. ヒト羊水幹細胞を用いた周産期神経疾患の新規治療戦略/脊髄髄膜瘤モデルによる検討 (25分)

落合大吾 (慶應義塾大学医学部)

2. iPS 細胞由来培養皮膚を用いた脊髄髄膜瘤の新規治療戦略…………… (25分)

梶原一紘 (東京慈恵会医科大学)

3. 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症に対する胎児治療と新生児治療…………… (25分)

谷村憲司 (神戸大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター)

4. 低ホスファターゼ症周産期型における周産期管理と治療への道筋…………… (25分)

永岡晋一 (宮城県立こども病院)

5. 胎児診断に基づいてEXITを施行した9例の適応と治療成績, 長期予後に関する検討…………… (25分)

正嶋和典 (大阪母子医療センター)

ディスカッション…………… (55分)

25分：講演 20分+質問 5分

シンポジウム参加費：

会員および医療従事者 : 12,000円 (但, 2月9日のみ参加 10,000円)

大学院生^{*1}, 看護師, 保健師および助産師, その他のコメディカル

: 5,000円

学生^{*1}, 初期研修医^{*2} : 無料

*1 大学院生, 学生の方は, 当日学生証を提示して下さい。

*2 初期研修医の方は, 「参加費免除申請書」を当日提出して下さい。

*3 事前登録は行いません。当日, 会場での参加受付(現金での集金のみ)となります。

懇親会参加費： 無料

事務局(連絡先)：運営事務局：株式会社日本旅行 西日本MICE 営業部

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第4ビル 5階

TEL 06-6342-0212 FAX 06-6342-0214

E-mail: sympo37@nta.co.jp

第37回周産期学シンポジウム会長
白井 規朗 先生

参加費免除申請書

(ふりがな)
氏 名：

卒業大学： 卒業年度：

所属施設名：

上記参加者が当施設の初期臨床研修医であることを証明します。

これにより、第37回周産期学シンポジウム参加にあたる参加費を免除頂くよう申請いたします。

	年	月	日
研修指導責任者：(署名)			印
役	職：		
連	絡	先：(TEL)	(FAX)

※責任者の署名・捺印がない申請書は無効となります。

周産期学シンポジウム事務局控欄

登録日：
参加証 No：
備考：
取扱者サイン：

日本周産期・新生児医学会 第37回周産期学シンポジウム

胎児診断から始める治療戦略

会期: 2019年2月8日(金)・9日(土)

会場: 大阪国際会議場

(〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3-51)

会長: 臼井 規朗

(大阪母子医療センター小児外科主任部長)

Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine

2月8日(金)【プレングレス】 16:00~18:30

会長挨拶 臼井 規朗(大阪母子医療センター小児外科)

1. 教育講演 16:00~16:50

胎児MRI診断の現状:何がどこまでわかるのか? (50分)

座長: 西川 正則(大阪母子医療センター放射線科)

演者: 宮崎 治(国立成育医療研究センター放射線診療部)

2. 委員会報告 16:50~17:20

胎児疾患に関する全国調査 (30分)

座長: 和田 和子(大阪母子医療センター新生児科)

演者: 渡部 晋一(倉敷中央病院総合周産期母子医療センター)

米田 徳子(富山大学産婦人科)

休憩(10分)

3. 特別講演 17:30~18:30

Development of the artificial womb: Challenges and Milestones. (60分)

座長: 臼井 規朗(大阪母子医療センター小児外科)

演者: Emily Partridge MD, PhD (Division of General, Thoracic and Fetal Surgery, Children's Hospital of Philadelphia)

懇親会 18:45~20:15

会場: リーガロイヤルホテル「山楽」

2月9日(土) 周産期学シンポジウム:胎児診断から始める治療戦略

【午前の部】9:00~12:00

診断 ~ 予後予測からトリアージへ~

座長: 板倉 敦夫(順天堂大学産婦人科)

渡部 晋一(倉敷中央病院総合周産期母子医療センター)

①先天性消化管閉鎖症における出生前診断の意義の検討 (25分)

田中 亮(名古屋大学医学部附属病院周産期母子センター新生児科)

②胎児超音波検査による先天性横隔膜ヘルニアの包括的リスク評価 (25分)

照井 慶太(千葉大学小児外科)

③胎児診断からみた肺嚢胞性疾患の治療と周産期予後 (25分)

杉林 里佳(国立成育医療研究センター周産期科)

④胎児診断に基づいた先天性心疾患胎児の分娩施設の選択 (25分)

漢 伸彦(福岡市立こども病院新生児科)

⑤左心低形成症候群の予後からみた胎児期からの治療戦略 (25分)

北代 祐三(福岡市立こども病院産科)

ディスカッション (55分)

【ランチオンセミナー】12:10~13:10

【午後の部】13:20~16:20

治療 ~ 難治性疾患へのアプローチ~

座長: 早川 昌弘(名古屋大学総合周産期母子医療センター)

石井 桂介(大阪母子医療センター産科)

⑥ヒト羊水幹細胞を用いた周産期神経疾患の新規治療戦略/
脊髄膜瘤モデルによる検討 (25分)

落合 大吾(慶應義塾大学医学部産科)

⑦iPS細胞由来培養皮膚を用いた脊髄膜瘤の新規治療戦略 (25分)

梶原 一紘(東京慈恵会医科大学産婦人科)

⑧症候性先天性サイトメガロウイルス感染症に対する

胎児治療と新生児治療 (25分)

谷村 憲司(神戸大学医学部附属病院産科)

⑨低ホスファターゼ症周産期型における周産期管理と治療への道筋 (25分)

永岡 晋一(宮城県立こども病院産科)

⑩胎児診断に基づいてEXITを施行した9例の適応と治療成績、

長期予後に関する検討 (25分)

正島 和典(大阪母子医療センター小児外科)

ディスカッション (55分)

シンポジウム参加費:

■会員および医療従事者: 12,000円 (2月9日(土)のみの参加: 10,000円)

■大学院生、看護師、保健師および助産師: 5,000円

■学生、初期研修医: 無料

なお、事前登録は行いません。当日、会場での参加受付(現金での集金のみ)となります。

懇親会参加費: 無料

周辺宿泊施設の混雑が予想されます。

ご予約は参加者の皆様ご自身にてお早めにお済ませください。

運営事務局: 株式会社日本旅行 西日本MICE営業部

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル5階

TEL: 06-6342-0212 FAX: 06-6342-0214 E-mail: sympo37@nta.co.jp